

# 星屑

Sep. 06

No. 378



コンデジによる夏の大三角形  
詳しいデータは「ちょっと一服」参照

熊本県民天文台

# この夏は、雨続き、暑さ続き 大雨洪水警報で、観望会の中止もありました！

2006.08.12 鮎島



## 5月の連休から、曇りや雨続き

今年は、異常なお天気が続いていますね。5月、シユウスマントーハマン彗星が接近し、核の分裂に注目が集まる中、連休初め頃の観測を最後に、全く観測・観望などできない日が続きました。そのまま梅雨に突入したかのようなお天気が続き、梅雨末期には数度の豪雨。夏休み入りと同時に予定されていくつかの天体観望会は、嘉島西小でのイベント以外は洪水警報がでていて開催そのものが中止になってしまいました。

**7/20 御船白旗小の来台観望会(中止)**

**7/21 熊本市城南小での観望会(中止)**

**7/22 嘉島西小での観望会(雨天実施)**

前日までの洪水は小康状態になったものの、この日も雨が降り継ぎました。望遠鏡を使っての天体観望会は諦め、「星の観察 自由研究入門」の導入部だけを行うことにしました。「星座早見で明るい星の名前を調べよう」の指導です。

学校でのキャンプです。私たちが到着したときには、校舎内で肝試しをやっているらしく、かなり興奮した子ども達の声が引き渡っていました。星が見えない状態で、うまく運営できるか、一抹の不安がよぎる中、21時過ぎ頃、体育館に子ども達が続々と集まってきた。

でも、体育館に集まった子ども達、先生の指導がよいのか、とても素直に、しかも熱心に「星の観察」に取り組んでくれました。星座早見の使い方の要点をしっかりと指導したら、子ども達だけでなく、先生や保護者の方々も、熱心に傾きながら聞き入って下さいました。

残った時間を使って、電子紙芝居の上演です。「星の観察」に関連の深い話題を考え、選んだのは「北斗七星 鳥の狩人達」のお話です。最近の子ども達は、アメリカインディアンなんて全く知らないようでしたが、星空の動きを巧みに季節の変化と結びつけたインディアンの知恵には感心したようでした。

## 7/29 フィールドミュージアム

この夏は「星の観察 自由研究入門」がテーマです。その第一回目の大きなイベントになりました。開会前、到着順に細い月の観望を楽しんでもらい、20時から開会。「星座早見の使い方」を中心とした第一部と、「星の位置を測る」や「星の動きを記録する」の第2部とに分け、間に木星などの観望をはさみました。当夜は、流れ星がたくさん見え、月が沈むと天の川もだんだん見えてきて、久しぶりに充実した観望会になりました。

途中、こばと保育園からの団体観望もやってきて、賑やかでした。熱心な参加者が多く、イベントが終了したのは22:00頃、その頃には、近隣商業施設の大半が店じまいし、見事な天の川が見えていて、「ようやくの梅雨明け」をしっかり楽しむことができました。

解説の電子紙芝居も「星の観察 自由研究」をテーマに、新しいバージョンを準備し上演しましたが、なかなか好評だったようです。

## 8/1 必由館高校 来台観望会

豊野少年自然の家の宿泊研修で、夜の部として天文台へ来台しての天体観望会が企画されました。最近、豊野少年自然の家では、自主事業を含め、県民天文台の利用を組み合わせるよう提案されているようです。

雲の多い天気でしたが、開始時刻の20時頃から月や木星が見え始めたので、観望中心の運営に切り替えました。望遠鏡での月の観察が一巡したところで、携帯カメラを使っての撮影を勧めたところ、生徒さんだけでなく引率の方達まで撮影しに熱中して下さり、とても楽しい運営でした。

うまく撮影できると、その場で、他の参加者や参加できなかつた友人などにもメールで画像を配信するなど、携帯カメラの利用が若い人達の中で日常的なものとして普及していることがあらためて確認できました。また、こんな取り組みが、天体観望への興味を大きく促進することも確かめられました。



## ☆北天竺紀行（その6）☆

白鳥

「昼にしないか？」 なんだレストランか。。。

ちょっと安心する。しかし、どう見ても日本のモーテルみたいなんだけど

（写真をお見せできなくてすみません。） うちの近所に似たような建物があるぞ。

「いや、別に食べたくないから」「あつ、そう」 ドライバーだけどこかに行ってしまう。よくわからないけど車がある間は置き去りにされることはないだろう。建物の中に入つてみる。入り口に“ガネーシャ”が鎮座しているのはインドの商店では当たり前だね。

ちょっと薄暗い通路を通っていくと、広い空間にでた。そこには古いテーブルといすがあつて、奥には従業員らしい人。「なにか食べていかないか？」 見るとちょうどお昼だが、こんなところで食べるとなにを食べさせられかわからないと退散することにする。しかし、今時の学食でもこれだけのものはないぞ。食堂の右奥には工芸品が並んでいる。そちらを見ていると、さつきの従業員とは別の高校生くらいの若いのが出てきて「何か買わないか？」 ときたもんだ。いや、こんなところで買ったらいくらにふっかけられることか。そもそもドライバーとぐるかもしれないで、財布はできるだけ見せない方がいいだろう。大体、いかにも“みやげもの”といったものばかりが並んでいる。ああ、土産物屋だからだ。

風に当たると、土産物屋を横切って中庭に出てみる。日差しは強く、気温は高そうだが湿度がないからかそれほど暑くは感じない。中庭を向こうから誰かが歩いてくる。よく見ると若い女性が二人、こちらへと歩いてくる。聞くとはなしに聞いていると懐かしい響き。「なんだ 日本語だ！」 「日本人？」 向こうもびっくりしたようだ。話を聞くとツアーデニードリーからジャイプールに行く途中だそうだ。ツアーリーといつても周りには彼女たち二人しか見えないし、女性二人の旅？？ なんか危なくないか？ 話を聞いてみるとやはりミニバスで移動しているとのこと。こういった「ミニバス・ツアーリー」が多いのかな？ 彼女たちと別れて、ぼーっとしている。我が運転手君はどこにいったのか行方不明だし。とりあえず、車が勝手に発進しないように車の周りをうろうろ。遅いな————！ ！

駐車場にいると、ときどき（マイクロ）バスや（ミニ）バスが到着してくる。どうも休憩所としてよく使われているようだ。しかし、日本人は先ほどの二人だけで、白人ばかりやってくる。どうも聞いているとフランス人とアメリカ人が多いような。アメリカ人の家族がみやげ物屋に入っていた。店員が先ほどの若いのに、さらに二人ほど出てきて対応し始める。日本人なら興味のないものでも、一応愛想は振りまくところだろうが彼らは全然違う。自分に興味のないものは見ようともしない。しかも、次々に手にとって見ていくので従業員は大わらわ。しめしめと、このどさくさにみやげ物屋に入っていってじっくり見ることにする。最初はこちらにも店員がやってきたが「おいらは見ているだけだよ」というと、やってもこなくなつた。ドライというか、まあいいか。

結局、タジマハールの絵はがきを一枚買うことにした。50ルピー。

## 7. さあ、再出発だ

ドライブイン（モーテル？？）についてから一時間ほどたつたんだろうか、運転手登場。おいおい、おまえは今までどこに行っていたんだ？散々さがしたぞ。そんな僕のはらわたの煮えくりかえる思いなど気づきもしないのだろう、運転手は運転を再開し始める。もうなんだか疲れたぞ。必要最低限のことしかしゃべらない。午前中のお愛想はどこに行ったのやら。向こうも黙々と運転をするだけ。しかし、汚くて砂埃にまみれた街・町・まち。街の中心の大通りには決まってバザール。らくだや牛、さらに象まで街中を歩いている。そして、街の中心を離れるとお決まりのようにスラムが広がっている。そのスラムを抜けると人家はほとんどなくなってわずかの煙と広大な砂漠が目の前に飛び込んでくる。そんな光景を出発から何度繰り返し見てきたんだろう。そろそろ飽きたなと思っていた頃に大きな変化が向こうからやってきた。

それは何度目の街の大通りにさしかかった頃だろうか。ひとりの男が大通りで車を呼び止める。もちろん、信号機などない。なにか大声で叫んで運転手にドアを開けろと催促する。もちろん、英語ではないからなにを言っているかはわからない。しかし、一瞬、運転手が緊張するのがわかった。よく見ると左手に銃。おいおい、しゃれじやないぜ。おもむろに助手席のドアを開けると乗り込んできた。なんだ？乗り合いタクシーか？？

韓国で、道々客を乗せはじめて、最後に「これ、俺の彼女。さきに家に送ってからおまえの目的地に行くから」と勝手に逆方向に行かれたこともあったが、そんな類とも違うようだ。それまで、無口になった俺の関心を引こうと、ときどき話しかけていた運転手も前を向いて必死に運転している。助手席の男は、勝手にラジオも変えはじめてなんだか“俺の車”状態。とりあえず、銃口を向けられても撃つのに困るように助手席の真後ろに移動する。まさかシート越しに撃つことはないだろう。物取りでもシートに穴があいたのではやってられんだろう。隙があれば後ろから羽交い締めにできるように、寝たふりをしながら様子を見ていることにする。しかし、渋滞や前を横切る人・車があるたびに怒鳴っていてうるさいんだけど。3人旅になるなんて聞いてなかったぞ。誰だこいつ？

(次回に続く)



図 さすがインド。牛はよく見かけました。たぶん、のら牛だと思う。

# ☆☆☆ ちょっと一眼

## Poem & Illustration

残暑お見舞い申し上げます。連日暑いですねえ。立秋が過ぎたとは言え、とても秋の気配など感じられない毎日です。とはいっても、確かに、日の出は遅くなり、日の入りは早くなり、秋の星座が昇るのも早くなってきました。

天文台は、やっと戻ってきた星空に、連日熱心なお客様で大盛況です。

私事ですが、ずっと愛用していたコンパクトデジカメが壊れまして、修理に出したのですが、その間カメラなしの生活に耐えられず2代目（二台目！）のコンパクトデジカメを買いました。星空モードと言うのがあります。星野写真が撮れます。買って来た日の夜、まるで撮ってくださいといわんばかりの満天の星空。さっそく夏の大三角形を撮ってみました。白鳥座 $\chi$ 星が、ずいぶん明るく写っています。

まだまだ天頂でがんばっている夏の大三角形。残暑の象徴みたいですね。



## 残暑

逃げ水を追いかけて  
走っていく

どこまでも どこまでも  
そこに水はないと  
うすうす感づいては いるのだけれど  
なにしろ のどが からからなので

それでも夜には追いつかないまま水が消え  
狂おしい思いに天を見上げると

のどに赤く輝く宝石を煌かせて  
白鳥が飛んでいく。  
なみなみと輝く水をたたえた  
天上の川の中を

川のふちでは 大口を開けたやぎが  
どうやって水を飲み干そうかと思案中だ



By Dio

# 2006年7月の県民天文台～運営日誌より～

開台率 7日／14日 50% (総開台日数9日)

一般来台者数 188名 会員来台数 26名

日曜	天気	来台数	担当運営	記 事
9日 (日)	くもり	0	艶島	<p>雨ばっかり続いています。今日は昼間青空が広がって気温がぐんぐん上昇、「夏到来！」の雰囲気でした。</p> <p>ところが、台風が近づいたからか、夕方には一面に雲が広がりまたしても「一般公開ナシ！」の状態になりました。</p> <p>郵便物チェックのため来台。カビくさいので換気中。</p>
15日 (土)	快晴	0	艶島・小林J・小林M・中島・西嶋・白鳥	<p>トークアバウト</p> <p>満天の星空。天の川が美しい！！久々の星空です！</p> <p>雷でADSLルーターのモデム部分が壊れました。同じくJ氏の無線LANも壊れました。</p>
16日 (日)	曇りのち晴れ	6	中島 西嶋	<p>くもるかな、雨かなと思っていたら、見事に晴れました。きのうに続き、天の川がきれいです。</p> <p>木星の模様が複雑になっていて、なかなか面白いです。</p> <p>一般公開時は、まだ雲が多く、望遠鏡での観望は木星のみ。</p> <p>愛用のフルオートコンデジが不調です。こわれたみたい・・・寿命かな・・西嶋</p> <p>雷でDVDプレーヤーが壊れた模様です。</p>

日曜	天気	来台数	担当運営	記事
20日 (木)	雨	3	艶島	「星の観察 自由研究入門」白旗小は雨のため中止になったが、合流を希望していた小学生2人+引率1名が来台。貸し切り状態での講座を開講しました。マンツーマンに近いので詳しい解説。質問もいっぱい。楽しかったです！
22日 (土)	雨	80	艶島	嘉島西小4年出張観測会 電子紙芝居で「星の観察 自由研究入門」。星座早見で明るい星の名前を調べよう！を実施しました。
26日 (水)	晴れ	0	中尾T 小林J 艶島	T o m m y 氏、300mm F 4.5を入手。撮影テスト
28日 (金)	快晴	19	西嶋 高田 小林J	月、木星、M4、M7、M8、M22、M17、スピカ、ミザール、ダブル'2、M57 千客万来。まだ明るいうちに来台した親子から始まって、次々ととぎれることなく、気がつけば23時に！皆さん大感激でした。（最高の菱空！！最高の透明度！！） ・「絶対可憐チルドレン」4～5巻 ・「日本沈没」1～2巻持ってきました。
29日 (土)	快晴	70	艶島 西嶋 中島 白鳥 小林M 中尾T	フィールドミュージアム「星の観察 自由研究入門」→35人 城南こばと保育園 →20人 月、木星、アンタレス、M22、大流星 西嶋さんの新しいデジカメ登場！
30日 (日)	晴れ	16	艶島 小林M 崇城大の渡辺さん	「星の観察」の自由研究をしたいという子どもを連れた家族が数組。募金をしてもらって冊子をプレゼント。月、木星、アンタレス、M22、M27 運営が終わってスライディングループを閉めようとしたら同架してあった20Cm鏡がゴトン！と床に落下！ビックリして調べたらプレートにタップで切ってあったネジが馬鹿になっていました。取り付け金具を作り直す必要があります。

## — B 5 のたわごと —

梅雨明けとおーっても遅かったですね。九州南部は、過去30年間で最も長い61日間の梅雨だったそうです。長過ぎです。しかも、梅雨明けした途端熊本では連日35度超えで暑過ぎ。なんでも程々が一番なのですが…。ちなみに1時間に50ミリ以上という非常に激しい雨が、九州を中心に全国で 171回観測され、短時間の激しい雨が観測史上最多の回数だそうです。これも温暖化のせいなのでしょうか。はあ～早く秋にならないかな。

☆☆☆ 18年度の会費納入をお願い致します ☆☆☆

### ☆ 9月の天文現象＆行事☆

- 1日（金） 上弦（07：57） 二百十日
- 6日（水） 天王星が衝（03：55 5.7等 視直径03.7"）
- 7日（木） 月が天王星の南00°23.7'を通る オーストラリアで天王星食
- 8日（金） 満月（03：42） 部分月食（03：51 食の最大 18.9%）  
白露(はくろ…秋の気配が強まり、草木の葉に露が白く光るという意味)
- 9日（土） **トーケアバウト（天文台にて 20：00～）**  
**観月会（一品持ちよりで）**
- 12日（火） 木星とてんびん座α星が接近（19：57）
- 13日（水） 114P/Wiseman-Skiff彗星が近日点通過
- 14日（木） 下弦（20：15）
- 15日（金） ヘルクレス座Wが極大（7.7～14.4等） 月が本年最北（赤緯+28°43.4'）
- 20日（水） 彼岸の入り
- 22日（金） 新月（20：45） 大西洋で金環日食  
月の距離が本年最遠（406502km 視直径29'24"）
- 23日（土） 秋分（しゅうぶん…昼夜同じ長さ（等分）になる日で秋分。秋の彼岸の中日）
- 26日（火） 夕空で月と木星が並ぶ 80P/Peters-Hartley彗星が近日点通過
- 30日（土） 火星最遠（1.7等 視直径3.6" 距離390356491km）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2006年9月号 通巻378号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige@kcaohige.com 中島まで